

市長定例記者会見の概要(令和4年第2回市議会定例会ほか)

4月28日、14:00～、201会議室

令和4年第2回市議会定例会(5月9日に召集)について概要説明を行いました。
続いて下記項目を発表。

- 1 立川市新型コロナウイルス感染症にかかる緊急対応方針(第7弾)
- 2 立川市魅力発信拠点施設GotoLink/コトリンクがオープンします
- 3 電子書籍児童書読み放題パックの購入について
- 4 ごみ出しサポートシール事業の開始について
- 5 「てまえどりPOP」による食品ロス削減の啓発について
- 6 立川市×たましん美術館 — ひと、まち、アート —
- 7 セルフレジ及びキャッシュレス決済の運用開始について
- 8 5月7日(土)・8日(日)アルバルク東京ホームゲーム「立川Thanks Days」実施について



立川市 新型コロナウイルス感染症にかかる 緊急対応方針（第7弾）

令和4年4月22日

はじめに



- ▶ 本市では、これまで第6弾にわたり緊急対応方針のもと、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいりました。
- ▶ 現在、国内ではオミクロン株の変異種であるBA.2による感染再拡大の懸念があり、また、海外等では感染力が高い新たな変異株の発生等も報告されています。この間、本市では、3回目のワクチン接種をはじめ、5歳～11歳の小児接種を実施しておりますが、さらに、4回目のワクチン接種について、国から接種体制の整備を始めるよう通知があったことから、4回目接種に関する詳細が示された場合での速やかな対応が求められています。また、国や東京都はもとより関係機関と連携しながら、地域医療や地域福祉、子育て世帯、地域事業者等への支援などに対応していく必要があります。
- ▶ そのため、第7弾の緊急対応方針を定め、取り組みを展開してまいります。



~“オールたちかわ”でこの難局を乗り越えるための緊急対応・第7弾~

緊急対応策としての4つの柱

1. 地域医療と地域福祉にかかわる取り組み
2. 子育て世帯・子ども・学校にかかわる取り組み
3. 地域経済と地域事業者等にかかわる取り組み
4. 感染予防対策・ポストコロナを見据えた取り組み

→これらの支援を着実に実行するために、既に予算化を図ったものと合わせ、速やかに補正予算案を提出し取り組んでまいります。

3

1 地域医療と地域福祉にかかわる取り組み



■ 新型コロナウイルスワクチン接種への適切な対応(国事業) **充実**

(R3補正予算化、R4当初予算化、補正予算案 約4億800万円)

→5歳から11歳までを対象とした1・2回目の接種や2回目の接種を終えた市民への3回目の接種を継続するなど、市医師会と連携して接種機会の確保に取り組みます。

→4回目接種に向け準備を整えるとともに、国からの指示に基づき接種を開始します。

→在宅で生活している障害者が新型コロナウイルスワクチン接種のためにタクシー等利用した場合にその一部の費用を継続して補助します。

■ 自宅療養者への支援 **充実** (R3補正予算化、R4当初予算化、補正予算案 約1億1,600万円)

→感染の増加等により保健所機能がひっ迫する場合に、立川市医師会を中心として訪問看護師や薬剤師会等と連携し、自宅療養者への支援を行うとともに、保健所からの情報を基に、食料やパルスオキシメーターなどの配送等の支援を行います。

4

1 地域医療と地域福祉にかかわる取り組み



■ 障害者施設等におけるPCR検査等補助事業 **継続**

(R3補正予算化、補正予算案 約2,000万円)

→PCR検査などを実施する介護・障害福祉サービス事業所等に対して、検査費用等を補助します。

■ 居宅介護支援事業所等におけるPCR検査等補助事業 **継続**

(R3補正予算化、補正予算案 約100万円)

→東京都の補助対象外である居宅介護支援事業所の従事員等に対して実施するPCR検査費用を補助します。

■ 在宅要介護者受入体制整備事業 **継続**

(R3補正予算化、R4当初予算化)

→在宅で障害者や高齢者を介護している家族が病院等で療養となった場合に、ヘルパー派遣や一時的に施設入所できる体制整備を支援します。

5

1 地域医療と地域福祉にかかわる取り組み



■ 介護保険料の減免 **継続**

→新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方に対し、介護保険料を減免します。

■ 国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の減免 **継続**

→新型コロナウイルス感染症の影響により収入が一定程度減少した方に対し、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料を減免します。

■ 国民健康保険傷病手当金 **継続**

→新型コロナウイルス感染症に罹患した場合等に、令和3年度に引き続き傷病手当金を支給します。

■ 総合福祉センター管理運営 **新規** (補正予算案 約100万円)

→国の補助金を活用して、総合福祉センターの利用者等に対する感染症対策用の消耗品を購入します。

6

2 子育て世帯・子ども・学校にかかわる取り組み



- 電子書籍児童書読み放題パック購入 **新規** (補正予算案 約130万円)
→小中学校に配備した1人1台タブレットPCをより積極的に活用するため、同時アクセス数(利用者数)に制限のない、児童文学等の「読み放題パック」を導入します
- 子育て世帯への臨時特別給付(支援給付金)事業 **新規** (R3補正予算化)
→離婚により先行給付金及び追加給付金を受け取ることが出来なかった養育者に対して給付金を支給します(申請期間は令和4年3月1日~4月30日)
- 児童・生徒心理調査分析等の実施 **継続** (R4当初予算化)
→コロナ禍でストレスを受けている児童・生徒について、教職員の日々の観察と合わせ、心理的分析を実施し、支援が必要な子どもを多面的に把握するとともに、早期に組織的な対応を行い、心のケアに取り組みます
- 児童・生徒保健衛生 **新規** (R4当初予算化)
→感染症対策として、歯科検診時に歯鏡の滅菌回数を増やし、直接手に触れずに2本の歯鏡によるダブルミラー式での検診を行います
- 子ども関連施設等への消耗品費の購入補助等 **継続** (R3補正予算化)
→学校、保育園、学童、児童館などに対して国の補助金などを活用して、感染症対策用の消耗品等を購入します

7

3 地域経済と地域事業者等にかかわる取り組み



- 商店街への支援 **継続** (R4当初予算化)
→新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした取り組みに対し、商店街感染症対策事業補助金を支給します
- 中小企業融資支援事業 **継続** (R4当初予算化)
→中小事業者の活動支援のため、「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」(令和2年3月から5月まで)等の利子補給を実施します
- ビジネス総合支援事業 **継続** (R4当初予算化)
→中小事業者に対し、東京都中小企業振興公社の専門家派遣制度を利用する際の自己負担分の一部を補助します
- 商店街装飾灯電気料補助金 **継続** (R4当初予算化)
→各商店街への支援として令和2年度、3年度に続き、補助率を引き上げ、全額補助します
- 立川文化芸術のまちづくり協議会への支援 **継続** (R4当初予算化)
→ポストコロナ社会に向けて、文化芸術のまちづくり協議会を通じて、活動継続のための支援金を補助します

8

4 感染予防対策・ポストコロナを見据えた取り組み



- 保育園や学童保育所、児童館などでのICT活用 **新規** (R4当初予算化)
→保育園や学童保育所、児童館などにおける保護者連絡ツールの導入、学童や児童館におけるWi-Fi環境を整備します
- 「立川アートコレクション」バーチャル美術館機能の充実 **充実** (R4当初予算化)
→ポストコロナ時代の文化芸術活動を推進する観点から、自宅のパソコン等で絵画鑑賞が楽しめるバーチャル美術館機能を、ウェブサイト『立川アートコレクション』に新たに追加します
- 各施設におけるアルコール消毒液等の購入 **継続** (R4当初予算化)
- 予備費の増額 **継続** (R4当初予算化)
→予備費を新型コロナウイルス感染症対応として、積み増しして緊急対応等に備えます

*国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」等に対応するべく注視していきます。

*今後、状況変化により内容を変更する場合があります

定例記者会見発表資料

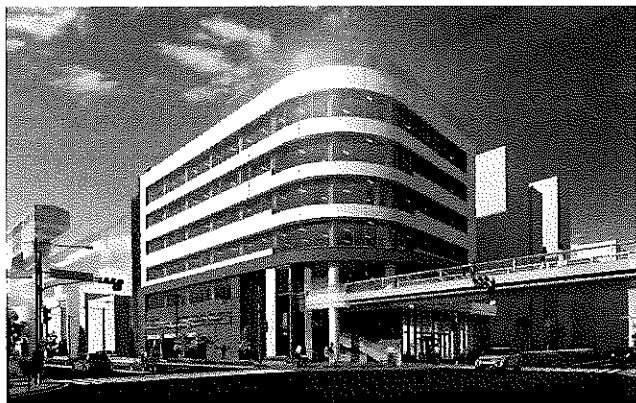
令和4年4月28日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	立川市魅力発信拠点施設 Cotolink／コトリンクがオープンします
<p>【概要】</p> <p>東京都と立川市がともに整備を進めてきました立川駅南口東京都・立川市合同施設の建物が令和4年2月28日に竣工しました。立川市専有部であります立川市魅力発信拠点施設 Cotolink／コトリンクにつきましては、運営事業者が開設に向けた準備を進めており、6月1日午前0時には、施設外部階段・エレベーター及びコトリンク有料自転車等駐車が利用開始となります。また、同日午後3時30分からは、コトリンク特産品販売&カフェのオープニングセレモニーを、姉妹都市である長野県大町市長などを来賓にお迎えして開催します。なお、コトリンク情報発信センターにつきましては、令和4年度前半の開設に向けて施設整備等の準備を進めています。</p> <p>【コトリンク特産品販売&カフェオープニングセレモニー】</p> <p>日時：令和4年6月1日(水) 午後3時30分～ 場所：コトリンク1階 LULU Terrace</p> <p>【PRポイント】</p> <p>立川市魅力発信拠点施設 Cotolink／コトリンクは、立川駅南口の新たなにぎわいと多摩の魅力発信拠点をコンセプトに整備を行ったもので、多くの人が集まれる自転車等駐車場とともに1階には実店舗として特産品販売&カフェを、3階には情報発信センターを配置し、立川市をはじめとした多摩地域の魅力を実体験と情報の両面から発信することができるのが特徴です。令和4年5月31日(火)には、マスコミ各社の皆さんを対象に内覧会を開催する予定としていますので、ぜひご参加いただきますとともに、今後のコトリンクの活動にご注目くださいますようお願いいたします</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：総務委員会</p>	
添付資料	有
問い合わせ先	総合政策部広報課シティプロモーション推進担当課長 太田 勇 電話：523-2111(内線)2167

立川市、魅力発信拠点施設コトリンクがオープンします

立川駅南口に新たに建設する東京都との合同施設の市専有部に、「魅力発信拠点施設コトリンク」を開設します。

『立川駅南口の新たなにぎわいと多摩の魅力発信拠点』を施設コンセプトに、地域情報の発信や特産品の販売などを行います



令和4年6月1日(水) 利用・運営開始

- ・コトリンク有料自転車等駐車場
- ・コトリンク特産品販売&カフェ(カフェは6月2日運営開始)
- ・施設外部階段・エレベーター
- ・コトリンク情報発信センター 令和4年度前半運営開始

「コトリンク特産品販売&カフェ」オープニングセレモニー

日 程: 令和4年6月1日(水) 午後3時30分～

場 所: コトリンク1階 於LULU TERRACE

出席者: 市長、市議会議員、大町市長、地域団体関係者等

内 容: テープカット、出席者による内覧 等

令和4年5月下旬に内覧会(報道機関向け)を開催予定

定例記者会見発表資料

資料 3

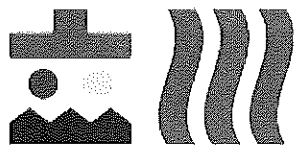
令和4年4月28日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	電子書籍児童書読み放題パックの購入について
<p>【概要】</p> <p>小中学校に配備した1人1台タブレットPCをより積極的に活用するため、同時アクセス数（利用者数）や貸出冊数に制限のない児童・生徒向け電子書籍300冊の読み放題パックを購入します。</p> <p>【事業費】</p> <p>電子書籍児童書読み放題パック購入費 約130万円</p> <p>【開始時期】</p> <p>令和4年6月1日(水)</p> <p>【PRポイント】</p> <p>「朝読」に最適 児童・生徒が好きな本を短時間で集中して読む「朝読」。人気の本を何人でも同時に読むことができ、「朝読」への活用が期待されます。</p> <p>クラス全員が同時利用 クラス全員が同じ本を同時に読むことができます。名作・歴史読み物等が授業で活用できるほか、一部を除いて「音声読み上げ」機能がついており、多様な利用に対応できます。</p> <p>自宅でも読書三昧 「1人1台タブレットPCでの家読」は、一人ひとりの読書環境を充実させます。コロナ禍において、外出を気にせず安心して読書を楽しめます。</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	教育部図書館長 池田 朋之 電話：523-2111（内線）4840

定例記者会見発表資料

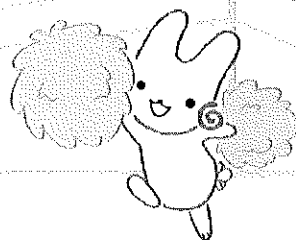
令和4年4月28日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	ごみ出しサポートシール事業の開始について
<p>【概要】</p> <p>令和4年5月1日より、自力でごみ出しが困難な世帯を対象に「ごみ出しサポートシール」による取組を開始します。</p> <p>本事業は、利用される市民の方に蓋付きの容器をご用意いただき、市が発行したごみ出しサポートシールを容器に貼り、ごみや資源を収集日の近いものから上に入れることで、収集日以外の日にもごみを出すことができるものです。お出しいただいたごみや資源は、各収集日に家庭ごみ指定収集業者の作業員が収集いたします。</p> <p>今までのごみ出し支援事業で要件に当てはまらなかった方や戸建て住宅にお住まいのため支援を受けられなかった方も、このごみ出しサポートシール事業では広く支援の対象となる制度で、ケアマネジャーやヘルパー、介護をされているご家族の方の負担の軽減も目的としています。</p> <p>【事業費(案)】</p> <p>令和4年度予算に計上済み ごみ出しサポートシール代等 8千円</p> <p>【事業期間 or 開始時期】</p> <p>令和4年5月1日(日)～</p> <p>【PRポイント】</p> <p>多摩26市では類似した事業を稲城市、日野市の2市が実施しています。それらに次いでスタートとなります。現行のごみ出し支援事業では支援できない方に向け生活環境の向上、スムーズなごみ出しの支援となるよう実施していきます。</p>	
添付資料	有
問い合わせ先	環境下水道部ごみ対策課長 大須賀 一夫 電話：523-2111(内線)6750



くらいが、一番いい

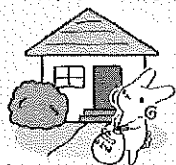
立川市 ごみ出し



サポートシール事業

ふた付きの容器にシールを貼れば 収集日の前にごみを出せます！

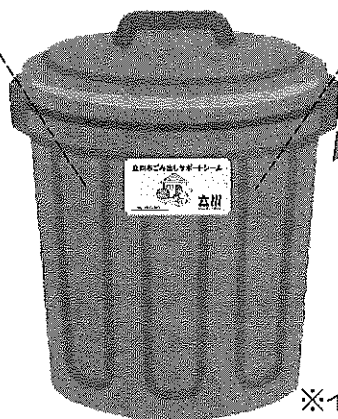
立川市ごみ出しサポートシール



No. 000001



収集日に近いごみが上になるよう
順番に入れてください



※イメージ

【ご利用できる世帯】(以下の2つに当てはまる方)

- ① 自らごみ出しをすることが難しい高齢者のみの世帯や障害者の単身世帯等
- ② 支援者(ケアマネジャーや別居のご家族等)が代わりにごみ出しを行っている、または行う予定の世帯 など

【ご利用にあたって】

- 申請は**支援者**が行ってください
- 容器は**利用される方**にご用意いただきます
- 集合住宅にお住まいの方は、容器の設置について**申請前**に集積所の管理者の承認が必要です
- ご利用を希望される方は、事前にごみ対策課までご相談ください

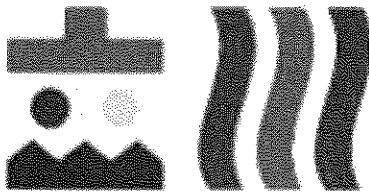
立川市環境下水道部ごみ対策課 TEL:042-531-5518

定例記者会見発表資料

令和4年4月28日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	「てまえどりPOP」による食品ロス削減の啓発について
【概要】 <p>「てまえどり」とは、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動のことです。</p> <p>消費者（市民）がおにぎりや総菜などを購入してすぐに食べる場合に、手前の商品から取ってもらうよう記載した啓発用のPOPを立川市が作成し、協力店舗の該当する商品棚に掲示してもらうことで、消費者（市民）にてまえどりの協力をお願いします。ことにより、食品ロス削減の周知や啓発を行います。</p>	
【事業費（案）】 <p>POP用加工用紙（光沢耐水紙）を印刷して作成の場合 1店舗当たり10部配布（1シートで4部作成可能） 用紙代10シート990円</p>	
【事業期間 or 開始時期】 <p>令和4年6月1日（水）～6月30日（木）（環境月間） ※10月（フードロス削減月間）に第二弾の実施を検討</p>	
【PRポイント】 <p>立川市内のコンビニエンスストアやスーパーなど取組に賛同いただいた店舗にPOPが掲示されることで、多くの消費者（市民）にてまえどりを知ってもらうきっかけとなり、食品ロス削減について立川市が主体となって実施します。</p>	
添付資料	有
問い合わせ先	環境下水道部ごみ対策課長 大須賀 一夫 電話：523-2111（内線）6750

立川市は「てまえどりPOPによる食品ロス削減の啓発」を実施します



くらいが、一番いい



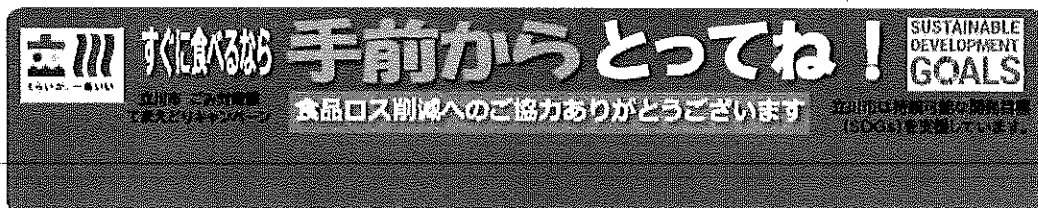
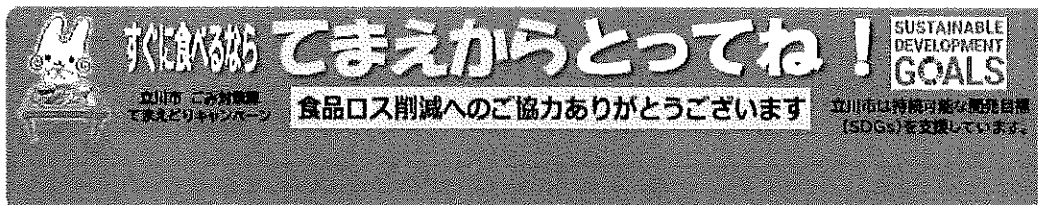
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

立川市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

立川市では、食品ロス削減のため、環境月間（6月1日～30日）の期間中、「てまえどりPOPによる食品ロス削減の啓発」を実施します。

※問い合わせ先
立川市ごみ対策課
☎042-531-5518（直通）

「てまえどり」とは、おにぎりやサンドイッチなどの商品を購入後すぐ食べる場合は、棚の手前に置いてある賞味期限が迫った商品を率先して選ぶという取り組みです。もし市内のお店で下記のPOPを見かけたら、ぜひ積極的に「てまえどり」を実行しましょう！！もちろん、POPがなくても「てまえどり」は実行してくださいね。



定例記者会見発表資料

令和 4 年 4 月 28 日 (木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	立川市×たましん美術館 ーひと、まち、アートー
【概要】	<p>市はこれまで「まち全体が美術館」構想に基づき、購入や寄附により市内の様々な施設や場所に、絵画や彫刻などのアート作品を設置してきました。日頃は市庁舎や地域学習館などに分散して展示している作品二十数点と、その作家たちのたましん美術館所蔵絵画を集めた、「立川市×たましん美術館 ーひと、まち、アートー」を開催しています。</p> <p>立川在住、在勤、在学の方は市民割引料金（一般 200 円、大学生以下無料）で入館できます。</p>
【事業費】	令和 4 年度予算に計上済み 所蔵絵画展示等委託料 2,200 千円
【事業期間 or 開始時期】	令和 4 年 4 月 9 日 (土) から 7 月 24 日 (日) 10:00~18:00 (入館は 17:30 まで) 休館日：月曜日 ただし、7 月 18 日 (月・祝日) は開館、翌 19 日 (火) を休館日とする
【PRポイント】	本展は、立川市とたましん美術館の共催となります。両者のコレクションの共通性は、立川市とたましんの歩みの重なりを意味します。「まち全体が美術館」構想のもとにまちづくりを進めてきた立川市と、その立川市で「たましんギャラリー」を 45 年間にわたり運営してきたたましんは、それぞれに多摩に根ざして創作活動を続ける作家を支援してきました。その歩みの重なりを振り返る企画となっています。
添付資料	有
問い合わせ先	産業文化スポーツ部 地域文化課長 轟 誠悟 電話：523-2111 (内線) 4500

T A C H I K A W A

M U S E U M

M

A R T

N I H S A W A L

C I T Y

共鳴する「アークミジエ」

立川市×たましん美術館 —ひと、まち、アート—

2022 4.9 [土] → 7.24 [日]

10:00 - 18:00 入館は17:30まで

休館日 月曜日—ただし7月18日(月・祝日)は開館、翌19日(火)を休館とする

入館料 一般500円、高校生・大学生300円

以下の該当者は無料：中学生以下/障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方(1人まで、障害者手帳アプリ「ミライのID」利用可能)

主催 立川市、公益財団法人たましん地域文化財団

協力 ファール倶楽部



立川市民割引
本展会期中に限り立川市在住、在勤の方は割引料金の200円にてご入館いただけます。また、立川市在住・在勤の高校生・大学生は入館料無料となります。

立川市×たましん美術館

—ひと、まち、アート—

会期 2022年4月9日(土)～7月24日(日)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 月曜日

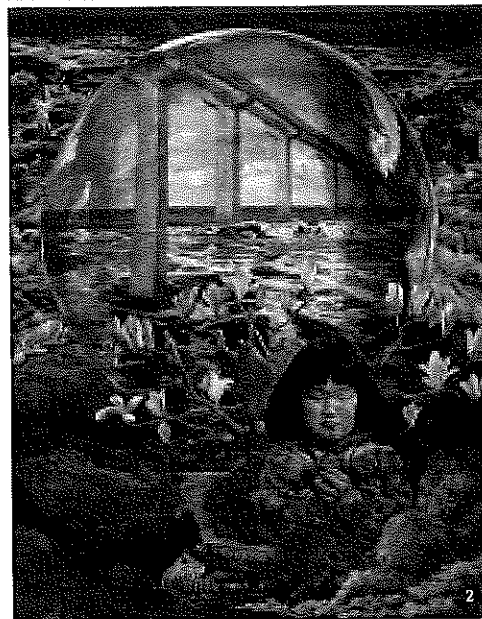
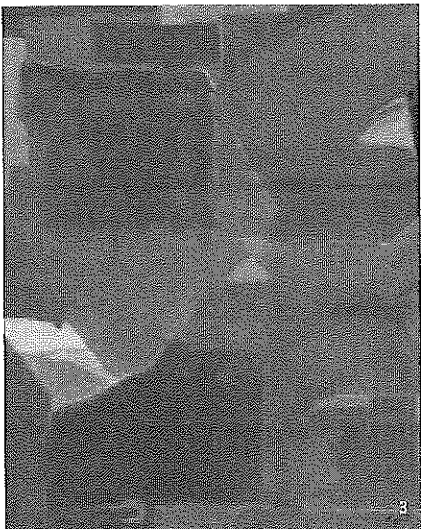
ただし7月18日(月・祝日)は明瞭、翌19日(火)を休館とする

入館料 一般500円、高校生・大学生300円

以下の該当者は無料：中学生以下/障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方(1人まで)
障害者手帳アプリ「ミライロID」利用可能/多摩らいふ倶楽部会員(本人とお連れの方1人まで)
/シニア・スクエア会員(本人とお連れの方1人まで)

本展は、たましん美術館が立川市と共催する初めての展覧会となります。立川市が所蔵する美術作品と、たましんコレクションの美術作品を織り交ぜてみた時に、見えてきたのは、二つのコレクションの共通性です。このコレクションの重なりは、立川市とたましんの歩みの重なりを意味します。「まち全体が美術館」構想のもとにまちづくりを進めてきた立川市と、その立川市で「たましんギャラリー」を45年間にわたり運営してきたたましんは、それぞれに多摩に根ざして創作活動を続ける作家の支援を続けてきたのです。今や立川は、ファーレ立川アートをはじめとするパブリックアートが、まち中に無数に点在する「アートなまち」として注目を集めています。そのファーレの中心に誕生した美術館として、本展では展示作品の魅力とともに、もう一度、まちに飛び出してアートを散策する喜びを発信いたします。

関連イベントについては、Webサイトをご覧ください。



tamashinmuseum.org



1 岸尾幸仁《夢境》多摩信用金庫所蔵 2 岸尾幸仁《希望の超図》立川市所蔵 3 荒木貞人《いるこよみ》立川市所蔵 4 サイト・ピン《空を飛んだ話》たましん地域文化財団所蔵 5 松尾隆司《宵衣の衣》多摩信用金庫所蔵 6 松尾隆司《砂原秋影》立川市所蔵

立川市民割引

本展会期中に限り立川市在住・在勤の方は割引料金の200円にてご入館いただけます。また、立川市在住・在学の高中生・大学生は入館料無料となります。

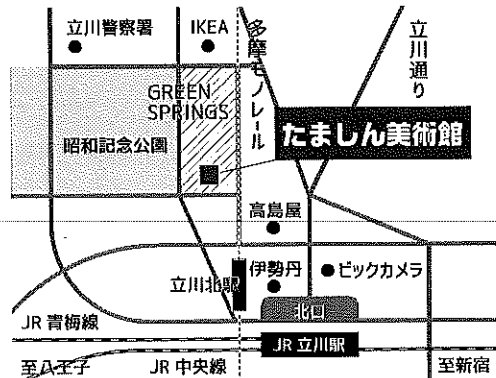
「まち全体が美術館」を目指して



Tamashin Art Museum

たましん美術館
〒190-8681 東京都立川市緑町3-4
多摩信用金庫本店1F

お問い合わせ：
たましん美術館 Tel. 042-526-7788
公益財団法人 たましん地域文化財団
Tel. 042-574-1360



定例記者会見発表資料

令和4年4月28日(木)

立川市総合政策部広報課

発表項目	セルフレジ及びキャッシュレス決済の運用開始について
【概要】	<p>市民課及び窓口サービスセンターでは、本日4月28日から、住民票や戸籍などの証明書交付手数料の収納にセルフレジ及びキャッシュレス決済を導入しました。</p> <p>キャッシュレス決済では、利用頻度の高い、クレジットカード、電子マネー、2次元コード決済のご利用が可能となっています。</p>
【事業費】	令和4年当初予算 1,999千円
【事業期間 or 開始時期】	令和4年4月28日～
【PRポイント】	<p>令和3年8月現在、多摩26市のうち5市(三鷹市、町田市、小平市、多摩市、あきる野市)が導入済みですが、導入の効果として、コロナ禍における市民のみなさまの接触機会の減少による感染症の拡大防止につながるとともに、事務効率を改善することによる市民サービスの向上としています。</p>
添付資料	有 無
問い合わせ先	市民生活部市民課長 野口 康浩 電話：523-2111(内線)1130

市民課窓口等でのセルフレジ（自動釣銭機） 及びキャッシュレス決済の導入

① 目的

- 接触機会の減少による新型コロナウイルス感染防止
- 決済方法の拡大による市民サービスの向上
- デジタル化の推進及び事務の効率化

② 導入場所

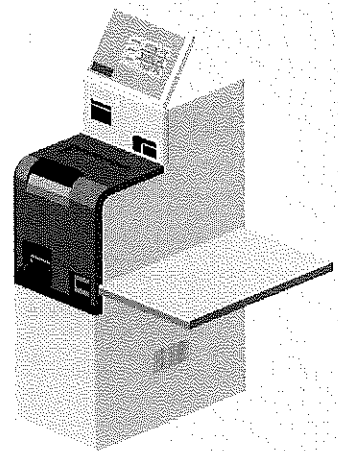
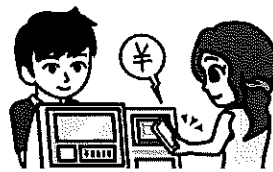
- 本庁市民課・窓口サービスセンター（各1台）

③ 対象

- 住民票の写し、戸籍証明書、印鑑登録証明書、課税非課税証明書等

④ キャッシュレス決済の内容

- 電子マネー
- QRコード
- クレジットカード



令和4年度 立川市当初予算

所管：市民生活部 市民課 事業費：1,999千円

2022年4月28日

報道関係各位

5月7日(土)・8日(日) アルバルク東京ホームゲーム
「立川 Thanks Days」実施について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021-22レギュラーシーズン最終戦である5月7日(土)・8日(日)宇都宮ブレックス戦にて「立川 Thanks Days」を実施いたします。

アルバルク東京は、ホームアリーナである代々木第二体育館が改修工事に入ることから、2017-18シーズンより立川市の「アリーナ立川立飛」をメインアリーナとして活動してまいりました。しかしながら、B1ライセンスの条件を満たすため、2022-23シーズンより、代々木競技場第一体育館にホームアリーナを移すことが決定しております。今後も継続して立川でのホームタウン活動や、シーズン中数回の試合開催は予定しておりますが、立川をメインアリーナとして活動するのは今シーズンまでとなります。

立川で果たしたBリーグ2連覇。アルバルク東京にとって聖地である立川で、3度めの優勝を目指すべく、ファンの皆さんと一丸になって戦っていきます。そして、これまでアルバルク東京を応援し、支えてくれた立川の皆さんに感謝の気持ちをお伝えするとともに、今後も一緒に戦ってきたいという思いを込めて、「立川 Thanks Days」を実施いたします。

【実施コンテンツ】**◆観光動画「アルバルクイチオシ！東京観光スポット」公開**

<https://youtu.be/WsMqz9GF1hA>

◆立川市にまつわるマスコット来場

5/7(土) 立川市キャラクター「くるりん」・立川市公認なりそこねキャラクター「ウドラ」

◆立川市役所 PR ブース (5/7のみ)

立川市の魅力を一言で表す合言葉、ブランドメッセージ「立川くらいが、一番いい」。

このロゴマークは【自然・まち・人が調和する「立川」】がコンセプトで、「立川」の文字を分解し、自然・まち・人に見立てたデザインで構成されています。

◆「地元農家のとれたて野菜 のーかる」、「信濃大町アルプスプラザ」出店

地元農家の撮れたて野菜にこだわった野菜の直売店「地元農家のとれたて野菜 のーかる」と、立川市の姉妹都市・長野県大町市のアンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」が限定出店！

◆立川市「店舗ガイドマップ」の配布（後援：立川商工会議所様）

立川市の名店 18 店舗を紹介した「ガイドマップ」を来場者全員に配布いたします。「ガイドマップ」を対象店舗に持参すると、素敵なサービスが受けられます。

◆5月7日（土）、8日（日）フードドライブ（協力：立川市社会福祉協議会様）

立川市社会福祉協議会様にご協力いただき、社会的責任活動「ALVARK Will」の活動の一環として、フードドライブを実施します。回収した食品は、立川市社会福祉協議会様を通じて、立川市内で生活に支援を必要とする人々、子ども食堂等の支援活動に寄贈されます。

食品や新品未開封の日用品を寄付くださった方には、オリジナルステッカーをプレゼント！

◆「立川プロスポーツ連絡会」展示（協力：立川商工会議所様、立川プロスポーツ連絡会）

アルバルク東京も加盟している「立川プロスポーツ連絡会」では、「スポーツで立川を盛り上げよう！」をコンセプトに掲げ活動しています。立川市におけるスポーツの魅力についてご紹介いたします。

なお、一般に情報公開はしておりませんが、5月7日（土）には、立川市・清水市長、立川商工会議所会頭・川口様、立川市商店街連合会理事長・五十嵐様、立川観光コンベンション協会会長・佐藤様をご来場予定、そして清水市長には試合前のプライムタイムにご挨拶いただく予定です。

※変更が発生する可能性もございます

「立川 Thanks Days」コンテンツ詳細はこちら

<https://www.alvark-tokyo.jp/news/detail/id=16724>



5月7・8日 宇都宮ブレックス戦 試合情報はこちら

https://www.alvark-tokyo.jp/game_20220507_20220508/



ご取材にお越しいただける方は、貴社名・担当者名・連絡先をご記入の上、下記までご連絡ください。

アルバルク東京コミュニティグループ community@alvark-tokyo.jp

070-3890-5159（裳輪）

報道関係の皆様におかれましては、

本件のご取材にご協力いただきますようお願い申し上げます。